

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり作成しましたので報告します。

産 業 建 設 委 員 会

平成27年3月6日（金）
 全 員 協 議 会 室
 9時57分～14時10分

【委 員】 布施委員長、牛尾昭副委員長

串崎委員、飛野委員、笹田委員、西田委員、牛尾博美委員

【委員外】 江角、岡本、野藤、小川、足立、平石、柳楽、岡野、西村、芦谷

【議長団】 澁谷

【執行部】

（産業経済部） 中村産業経済部長、田村産業経済部次長（兼産業政策課長）、竹中産業振興課長、
 佐々本広島市場開拓室長、川神農林振興課長（併農委事務局長）、吉田水産振興課長、

石田漁港活性化室長、岡本観光交流課長、倉井産業企画係長

（都市建設部） 下垣都市建設部長、河野都市建設部次長（兼建設企画課長）、吉田建設整備課長、
 宮下地籍調査室長、岡本維持管理課長、佐々木建築住宅課長、吉川災害復興室長、
 藤井建設庶務係長

（金城支所） 吉永金城支所長（兼金城支所建設課長）、芹原金城支所産業課長

（旭支所） 田村旭支所長、塚田旭支所建設課長（兼旭支所産業課長）

（弥栄支所） 田中弥栄支所長、岡本弥栄支所産業課長（兼弥栄支所建設課長）

（三隅支所） 横田三隅支所長、岡田三隅支所産業課長（兼三隅支所建設課長）

【事務局】 小川書記

議 題

1. 議案第9号 浜田市手数料条例の一部を改正する条例について
2. 議案第17号 浜田市漁業集落施設条例の一部を改正する条例について
3. 議案第19号 浜田市営住宅条例の一部を改正する条例について
4. 議案第26号 市道路線の廃止について（久佐45号線外）
5. 議案第27号 市道路線の認定について（国府248号線外）
6. 陳情審査（山崎ていじ氏の浜田市イベント出演推進とこれに関する財政的援助）
7. 執行部報告事項
 - (1) 地域ブランド連携協議会について（産業政策課）
 - (2) 漁業別水揚げについて（水産振興課）
 - (3) 浜田漁港水揚げ資料（2014年報）（水産振興課）
 - (4) イベントの概要について（観光交流課）
 - (5) はまだ農山漁村体験交流推進事業について（観光交流課）
 - (6) 旧相生水源地の跡地利用について（観光交流課）
 - (7) 山陰道浜田三隅道路原井IC-西村IC開通プレイベントの開催について（建設企画課）
 - (8) 平成25年8月豪雨災害復旧事業の進捗状況について（災害復興室）
 - (9) 元谷団地について（委員会終了後、現地視察）（農林振興課）
 - (10) その他
8. 所管事務調査
 - (1) 「将来、浜田の顔となる農産物の振興」について（農林振興課）
 - (2) しまねお魚センターの状況について（漁港活性化室）
 - (3) 観光モデルコースについて（観光交流課）
 - (4) PR大使等について（観光交流課）
 - (5) ゆうひパーク三隅の状況について（三隅支所産業課）
 - (6) その他
9. その他

【議事の経過】

[9 時 57 分 開議]

布施委員長

ただいま出席委員は7名で定足数に達している。ただちに本日の委員会を開催する。

産業経済部長

審査に入る前に執行部より1件、報告事項がある。産業経済部長。

三隅火電2号機建設計画の変更の申し入れについて報告する。2月27日、中電から市へ申し入れを受けている。直ちに議員には27日夕刻に市長より申し入れ内容の報告をした。

申し入れの趣旨及び内容については割愛するが、市長が述べていたように、市としては申し入れを歓迎し、申し入れに沿う回答に向け準備を進めている。

本日はその後の動きについてご報告し、また、今回の申し入れに対してご意見をいただければと思う。

その後の動きは、3月4日、浜田市と益田市、地元商工関係者らで組織する三隅発電所地域経済対策協議会の臨時総会を開催し、申し入れ内容について報告した。委員からは、益田・浜田圏域の経済活性化に大きく寄与するものであり、山陰自動車道整備や萩・石見空港の利用促進に繋がる。経済の好循環が図られ歓迎する。また他の委員からは、待ちに待ったというところ。地域内で人や物が動けば経済活動が活発になる。前向きに協力したい。良い意味での影響が各企業に波及することを期待している。等のご意見を賜り、賛同する意見をいただいた。

今後は、これまでも賛同の意を示されている三隅自治区の住民の皆さんに報告し、理解を得られるよう努めていく。

また、同様に申し入れを受けている島根県とも調整を図っていく。

布施委員長
西田委員

委員から何か意見等があるか。西田委員。

大変ありがたく、大歓迎したいと思う。これまでも1号機については建設時から拝見させていただいていたが、想像を絶する数の工事関係者の方々が入って来られて、そういった方々の経済効果も大変だが、1号機が2年に1回、3ヶ月から4ヶ月の定期点検をやっているが、これが2号機ができれば、その点検が毎年入る、点検も1,000人規模の工事関係者が入って来られるので、そういうことも非常に大きい経済効果だと思う。

もう1つ産業経済関係で大きいことは、発電機から出る温排水。点検時には止まっていたが、2号機ができれば途絶えることなく発生するので、それを活用した新たな産業経済政策が考えられるんじゃないかと。そういう意味でも非常に大きいことだと思う。大歓迎だ。

布施委員長
牛尾昭委員長

その他、牛尾副委員長。

平成19年に2号機の建設推進議員連盟を全議員参加で作り、中電本社に3年連続で要請活動していた。途中で頓挫して残念な思いもしたが、今回ようやく実現したとのことで、非常に喜ばしい。かつて三隅町議会での献金体制は期待権の侵害という話もあり、是非早期実現をお願いしたいということで、本社に通ったことがあった。いよいよ実現するのかと歓迎している。特に三隅自治区にお願いしたいのは、これを起爆剤として例えばゆうひパーク三隅の活性化。地産地消という観点から、上手く火電の効果を、三隅町内で苦戦している公の施設の元気になるような施策を、是非三隅自

治区として打ち出していきたい。それは産業経済部一緒になって、是非その辺の対策・対応をお願いする。

布施委員長
飛野委員

飛野委員。

大変歓迎。大きな事業、想像を超えるという話もあったが、そういうことを念頭に置く中で、おもてなしを始めとするハード的な宿舎であったり、食事面の対応は、見ているだけでなく進んで参加してもらうことが大切。そのタイミングにおいては浜田・三隅道路、三隅ICもできるので、人の流れが東へ向いて流れる仕組みづくりも必要で、しっかり対応していかなければならないと思う。

布施委員長
笹田委員

笹田委員。

良いこと、ありがたい。当初予定していたより大きな規模になるとのことで、三隅が注目されることになる。リハカレで期待されて周りで作られた家が余っているとのことなので、活用して三隅に人を呼び込んで、経済もだが定住に向けて取り組んで欲しい。大歓迎であり一緒になって取り組んでいきたい。

布施委員長

その他ないか。それでは、私からまとめを。

報告を受け、委員から地域経済の活性化などの観点から多くの賛同をいただいた。今後は、着実に計画を実行していただき、市も円滑な実施ができるよう協力を惜しまないでいただきたいということを申し上げておく。

産業経済部長
旭支所長

緊急報告があるので、旭支所長から。

非常にご迷惑をおかけするニュースになる。あさひ荘から再びレジオネラ菌が検出された。2月26日に検体を取ったサンプルが、本日午後には結果が出るとのことだが、昨日夕方に環境保健公社に確認を入れたところ、男性の方は陰性だが女性の方は陽性の可能性が高いと言われた。昨日中に保健所には連絡を入れた。あさひ荘は本日から休業している。11月1日から再開しており、11月末の検査では陰性だった。保健所の指導もあり3ヶ月に1回の検査で検体を取ったらこのようなことになった。

ご利用していただく多くのお客様にご迷惑をおかけすることをお詫びしたい。また、再びこういうことになってしまい、前回再開のご了承をくださった議員の皆様にもご迷惑をおかけすることになったことをお詫びする。本日すぐに保健所が検査に入ってくれる予定になっている。午後には実際に数字が出るはず。前は8万4,000という非常に大きな数字だったが、今回は100以下であろうということだが、確定情報は午後でないといけない。その結果をもとに保健所の指導を仰ぎながら最善の努力に努めたい。

布施委員長
牛尾昭副委員長

報告に関して委員から。牛尾昭副委員長。

非常に良いニュースの後で残念。万難を排して保健所と二人三脚で再開したのに、こういう結果が出たということで。公の施設なので非常に責任が重い。保健所の視点とは別の原因を探る必要があるのでは。使用者のマナーにも原因があるのではという声もある。早い時期に再開できるよう努力して欲しい。

笹田委員

すごく残念。11月以降に我々も行って入ると、受付の方も非常に丁寧で、良い施設になってきたと思った矢先で残念だ。被害がなければ良いのだが。利用者のケアをきっちりして欲しい。

布施委員長

その他。

(「なし」という声あり)

では、レジュメに沿って進めていく。

1. 議案第9号 浜田市手数料条例の一部を改正する条例について

布施委員長

執行部から補足説明は。
(「なし」という声あり)

布施委員長
笹田委員

委員から質疑は。笹田委員。
この変更の中で、設計住宅性能評価書というのがあり、それを提出するにあたっては、の条例改正だと思う。提出することでどういったメリットがあるのか。

建築住宅課長

長期優良住宅等の計画の認定申請に使用される。この認定を受けることで、税制上の優遇措置を受けることができる。例えば所得税のローン減税、登録免許税の率が低くなる等があるので、活用されることになると思う。

布施委員長

その他委員からあるか。
(「なし」という声あり)
それでは、次に移る。

2. 議案第17号 浜田市漁業集落施設条例の一部を改正する条例について

布施委員長

執行部から補足説明があるか。
(「なし」という声あり)

布施委員長
笹田委員

委員から質疑はあるか。笹田委員。
自治会が新しいのを建設され、古市場漁村センターが廃止ということだが、漁村センターの経過年数と、その後の利用方法等について。

三隅産業課長

漁村センターは昭和50年に建設されて、築40年、海に面しているので老朽化が激しい。古市場自治会が集会所として現在使用しているが、老朽化と海拔が0.8メートルということで、防災施設として利用するには不安があるとのことで、少し高手に自治会館の建設を決められた。漁港関係者の人数も少ないため、今後は廃止して普通財産に所属替えをする。一般の方からの利用申し込みが条件にあえば貸すが、なければ当面は閉鎖。

笹田委員

条例上は廃止して違う利用が応募があればやると聞こえたが。

三隅産業課長

普通財産にして、どうしても町内で利用したいという要望があればお貸ししたいが、なければ今の所は閉鎖を考えている。

布施委員長

その他委員から。
(「なし」という声あり)
それでは、次に移る。

3. 議案第19号 浜田市営住宅条例の一部を改正する条例について

布施委員長

執行部から補足説明があるか。
(「なし」という声あり)

布施委員長

委員から質疑はあるか。
(「なし」という声あり)
それでは、次に移る。

4. 議案第26号 市道路線の廃止について (久佐45号線外)

5. 議案第27号 市道路線の認定について (国府248号線外)

布施委員長

2件を一括議題とする。執行部から補足説明があるか。

布施委員長 (「なし」という声あり)
委員から質疑はあるか。
(「なし」という声あり)
以上で市長提案で本委員会に付託された議案については終了する。

6. 陳情審査 (山崎ていじ氏の浜田市イベント出演推進とこれに関する財政的援助)

布施委員長 これは最後に回す。

7. 執行部報告事項

(1) 地域ブランド連携協議会について

布施委員長 執行部から説明をお願いする。産業政策課長。
産業政策課長 (以下、資料をもとに説明)
布施委員長 報告が終わった。委員から質疑はあるか。串崎委員。
串崎委員 2年で退会ということで、計画性のなさを感じる。サミットにずっと加入していれば知名度の向上や経済効果も狙えたのではと思うが、経費等の都合で退会を決められたのか。
産業政策課長 経費についてだが、観光交流で行っている本居宣長祭りの費用も含めると、今年度は126万5,000円の予算を見ていた。ブランドサミット推進協議会への経費となると実質30万余りが予算になろうかと思う。
串崎委員 予算の多寡での退会ということではない。広島市場開拓室を中心に、山陽方面へのアピールに集中して取り組みたいため、今回の判断に至った。
布施委員長 抜けた理由について腑に落ちないが、既に退会されているので言うこともない。
牛尾博美委員 その他委員からあるか。牛尾博美委員。
牛尾博美委員 この件は1ヶ月くらい前に聞いて、咄然として驚くばかりである。せっかくこの常任委員会委員長をはじめ、視察で松阪市に行ってブランドサミットを勉強し、先方の山中市長も音頭を取ってくれて、このサミットにオブザーバーで出てみないかと誘っていただいて有田に行ったような状況だ。
産業政策課長 議会が一生懸命繋いで執行部も取り組んだのに、何故こんな…山陽方面に集中したいなんてものは1つも理由にならない。色んなことが頭に来ている、あり得ない。
産業政策課長 議会が取り組んで執行部も参加して、協議会にも出席して名を連ねたのに、なぜ議会に報告しなかったのか。まず聞いてみる。
産業政策課長 ご指摘のとおりである。議会への報告相談がなかったことについては、こちらの配慮が足りず申し訳なく思っている。
産業経済部長 いま答弁した次長は昨年4月の着任なので、経過は私が一番よく知っており、私も大変申し訳なく思っている。
産業経済部長 ブランドサミットは北海道から沖縄まで任意団体が名を連ねている。ブランドを何とかしたいという首長さん方の思いで組織され、牛尾博美委員が言われたとおり、当時松阪市長山中さんが中心的役割を担っておられ、浜田市との交流をする際にオブザーバーに誘ってくださり、議員の皆さんも賛同して始められたと認識している。
産業経済部長 実際に三重松阪と和歌山県有田に伺った。有田はみかんのまち。一昨年には愛媛県八幡浜市に職員を派遣して参加させていただいた。ここは水産もあるが愛媛みかんの産地である。

年1回のフェスティバル的イベントにも参加させていただいたが、松阪牛に比べたら浜田のブランドはインパクトに欠け、浜田はまだ名を連ねるレベルでないのでは、という話が持ち上がったのが平成27年度の予算要求の時期である。庁内でも協議したし、松阪市にご迷惑がかかってはいけないと、先方の担当の方とも協議を重ねた。

松阪との交流は今後も積極的に取り組み、どういう形で交流できるかは模索していかねばならないと考えているが、ブランド連携協議会については一旦退会して様子を見させていただくこととした。

牛尾博美委員のご指摘はごもっともだが、しばらくは山陽方面に集中させていただきたいので、ご理解を賜りたいと思う。

牛尾博美委員

松阪市の担当の方にはどういう形で相談されたのか。電話か、それとも行ったのか。

産業政策課長

電話でも話ができる関係になっていたので、今年度のサミット終了後に私から松阪の担当部長さんにお電話して、浜田にとってブランド連携協議会への参加はまだ荷が重いので待つて欲しい旨や、松阪市とのご縁は今後も発展させていくことが前提である旨をお話しした。その話はまた内部や市長とも相談し、また1ヶ月後に改めて担当部長さんに、電話で我々の結論をお伝えした。

牛尾博美委員

話は分かったが、議会がブランドサミットの視察で縁を作り、執行部も関わった協議会であるのに、議会の承諾や連絡もなく勝手にやめたと。それに松阪市に対しても失礼ではないか。どのように先方にお話したか分からないが、ルールに反している気がする。

市長は浜田市を元気にすると言うけれど、山陽筋だけがターゲットじゃない。チャンスがあれば掴むべきで、最初から地域を限定しての活動などあり得ない。非常に納得できない。

こういう状態で何をやってもだめ。個人、団体、市と市、議会と議会、一つ一つの関係を結びつけて、点と点を線に、線を面にしていくことをコーディネートしたり、積極的に応援するのが市の仕事だと僕は思っている。

繋がりをはサミで断ち切っていくようなことをするなら、経済活動で何をやっても結果は出ない、はっきり言って。一番いけないことである。

ましてや何の相談もなく見切り発車でやってしまうなど、もってのほかで、最悪だ。僕も長年やってきたが、こんなことは初めてだ。こんな状態だと議会も協力できない。

産業経済部長

委員さんの言われることはもっともで、こういう状況であることを議会にきちんと報告しなかったのは、大変申し訳なく思っている。

私どもも、これでよしとしたわけではない。松阪市との交流、山中市長と浜田市との交流といったことについては、全力で取り組ませていただくし、行政としても松阪市さんとは今まで以上に協力していくことが前提なので、その辺はご理解を賜るようお願いする。

西田委員

私も前回産業建設委員会で松阪市に視察に行かせていただいた。議会としても会派視察にあちこち行くが、何を吸収するか、目的があって行くわけである。

ブランドサミットに参加している自治体も、年1回のイベントにお付き合いで参加しているという感覚ではなく、新しい人との会話、交流、肌で感じるものの中に、市が変わるきっかけが何かないかと探しに行くわけで、

退会されたならそれで結構だが、そういうお気持ちがなかったから退会されたのだろうと私は判断した。

笹田委員

退会に至った経緯がただの言い訳にしか聞こえない。サミットの他の18自治体を見ても、松阪牛ほどのブランド力がある所は正直分らない。だったらなおさら。浜田市の海産物は関西に行っても有名だし、浜田市はこの中でもかなり上位に来るのではないかと思う。

さらに言えば、平成26年11月ということは錦織選手の発言でノドグロ人氣が爆発した後である。ならば浜田のノドグロをPRするチャンスとして参加に積極的に進むべきだったのではないかと僕は思う。

これをみても本当に言い訳にしか聞こえないし、先ほど西田委員も牛尾博美委員も言われたが、気持ちが足りないんじゃないかと思う。このままではせっかく広島開拓室が頑張っておられるが、何をやってもだめなんじゃないかと。我々が一生懸命活動しても、梯子を外されるようなことをされるなら、一緒に協力などできないのではないかと本当に思う。牛尾博美委員がお怒りになるのももっともだ。

一点だけ聞きたいのが、「この時期じゃない」と判断された、ならばどの時期なら再度入るのかと逆に思うくらいだが、聞かせてほしい。

産業政策課長

再加入する時期についてはまだ決まっていないが、しばらく基礎力を付けて。全国に打って出る良い物をもっと、全国に発信できるブランド力を蓄えるまでお休みさせていただきたいと思う。

牛尾昭副委員長

24年7月に常任委員会で松阪に行って。ブランドサミットは私と西田議員が9月議会で、松阪の力を借りてどんちっちを売りこむことを提案して、当時の市長が恐らく受け入れてもらったので、その年にオブザーバーで参加して、2年過ぎてどうでも良くなったということだと思う。

執行部と議会というのは二代表制の両端なので、政策について我々はチェック機能を持って議論を戦わせるわけである。今回の政策決定は、こんな理由では到底受け入れられない。まず議員提案を受けて当時の市長が政策決定したブランド参加について、退会した後に言い訳をつけてこうなのだ、と言うのは議会軽視だと思う。退会したいのだがどうだろうか12月議会になぜ言えなかったのか。その後に議論を交わして、やむなしということならそれは良い。やめた後に「やめました済みません申し訳ありません」って、百万言費やしてもものにならない。

例えば産業支援機構というのは山陽筋、広島しか営業に行かないのか。

産業振興課長

関西、関東、並びにそれ以外、対応していくつもりだ。

牛尾昭副委員長

産業支援機構は今の課長の答弁のように、山陽広島だけじゃない。ふるさと納税は全国だ。山陽筋と広島に力を注ぎたいから退会しますというのは理由にならない。理由にならない理由での退会は看過しがたい。なるべく冷静にこの問題を判断しなければいけないが、どう考えても退会の政策決定の過程が間違っている。市長が間違っているかもしれない。市長が間違っているなら間違っていると言わないといけないと思う。

委員長、この政策決定は市長の過ちであるという申し入れをしよう。おかしいよこんなことは。それを市長が受け入れる受け入れないは別で。でもこんなことしていたら…議員も公費を使いながら全国各地を歩いて、その中で良いと思う情報をいただいて政策提案をして、当時の市長が受け入れたと。でも結果については承服できない。そういうことが行われるよう

であれば、そういう姿勢は間違っているということを、委員会として申し入れる必要があると思う。結果は変わらなくても、今回の政策決定は市長間違っていますということを我々が言わないと、同じようなことがこれから続く。どうだろうか委員長、諮っていただきたい。

布施委員長

ただいま牛尾昭副委員長をはじめ、多くの委員から苦言があった。この件は執行部も真摯に反省されているが、指摘があったように議会軽視の意味にも取れるので、副委員長が提案された、この政策決定については市長が最終的には責任者であり判断されたということなので、一応この場で申し入れをするかどうか、委員の方に諮りたいと思う。

委員の皆さん、牛尾昭副委員長から提案があった、松阪の地域ブランド連携協議会退会の政策決定が間違いだということを、委員会として市長に申し入れをすることについて、賛成の方は挙手をお願いします。

《 挙手全員 》

挙手全員ということで、委員会として市長に後日申し入れたいと思うので、執行部の方よろしくをお願いします。

ではこの件については終了する。

(2) 漁業別水揚げについて

(3) 浜田漁港水揚げ資料 (2014年報)

布施委員長

2項目を一括して執行部から説明をお願いします。水産振興課長。

水産振興課長

(以下、資料をもとに説明)

布施委員長

委員から質疑はあるか。串崎委員。

串崎委員

資料2ページ。25年は下から2番目、今年は56億。市長がロードマップに載せた100億円の目標に近づいたのか。平成27年の目標は。今後巻き返しもあるのか。

水産振興課長

浜田漁港の水揚げを増やすということで、組織も漁港活性化室を作って取り組んでいる。昨年は取組みのための準備を進めた。今年は実行元年を表明している。水揚げ量を非常に増やしていくことは、我々も頑張らねばならない。ロードマップに示しているような方向で現在、市職員取り組んでいるが、関係団体とも連携したい。

そのような中、1月の水揚高が1億5千万円下がっていることは非常に憂慮している。ただ、それより水揚げの悪い時期、平成23年1月が3億8千万円余りの状況で年間63億円という年もあった。自然状況にも大分左右されるが、市場の高度衛生管理型荷捌所の完備、販路拡大、魚価向上等に取り組んでいきたい。

串崎委員

自然相手なので難しいとは思いますが、市長が言われる100億という目標があるので、27年60億等の目標を定めて取り組んでもらいたい。

布施委員長

委員から他にあるか。

(「なし」という声あり)

ここで暫時休憩する。再開は11時10分とする。

[11時 00分 休憩]

[11時 10分 再開]

(4) イベントの概要について

(5) はまだ農山漁村体験交流推進事業について

(6) 旧相生水源地の跡地利用について

布施委員長	3項目一括して執行部から説明をお願いします。観光交流課長。
観光交流課長	(以下、資料をもとに説明)
布施委員長	説明が終わった。(4)について委員から質疑はあるか。飛野委員。
飛野委員	2点目のヨシタケコーヒーの件についてである。50年という大きな節目に浜田のお宝であるこの一点がクローズアップされようとしているが、二つ伺う。このイベントは主催者側から持ち上がったものかということ、定員は両日とも200人なのかということ。
観光交流課長	ヨシタケコーヒーシンポジウムの発端は世界こども美術館の神課長から話があったもので、神さんも実行委員会のメンバーとして活動いただいている。定員は、12日については200人、13日については50から100人を考えている。
飛野委員	次に、3点目の和紙ユネスコについて。今回東京で開かれ、今後も続けるとのことだが、主導権は浜田がとっているのか。
観光交流課長	当初、市としては、浜田市でこのシンポの開催を提案したが、美濃市から「まずは東京で」と提案され、その提案に4市町が合意したもので、現時点では、美濃市に文化庁との連絡調整とか全体のシンポの検討については中心となって活動していただいている。
飛野委員	ということは、今後も美濃市がリーダー的にやっていくとの受け止め方でよいか。
観光交流課長	今回の東京での開催については美濃市が中心。その後各自治体で持ち回るシンポは、順番を決めて、その自治体为中心で動いていくと考えている。
飛野委員	このシンポを続けていくのに全体のリーダーが必要になると思うが、浜田市の位置づけはどうか。
観光交流課長	現時点では美濃市さんが主導権を取って調整をされている状況で、浜田もそれに協力しているという状況である。
産業経済部長	石州半紙は5年前にユネスコに登録されており、それに対して美濃紙と細川紙はきちんと敬意を払われている。浜田市が先輩格なのは間違いない。今回これを機会に和紙を売っていこうということで、浜田市で開催しませんかということと言ったら、美濃紙が細川紙も含めてユネスコ登録について協議されていて、実はユネスコから登録証が来ると。そうすると文化庁がレプリカを作って伝達式がある。そういう記念的セレモニーがあるなら、一過性のものに終わらせないためにも文化庁も巻き込んで東京でやらないかという話になり、それなら伝達式に合わせて皆でやろうということで了解したところである。
串崎委員	今後だが、三隅に石州半紙、ユネスコ登録のものがあ、広い範囲に石州和紙がある。これは美濃紙も同様で、本美濃紙と機械漉きの和紙があり広範囲に地域経済を潤していると。そういう状況はあるが、手すき和紙技術を中心に4市町村が関係しているので、それぞれで持ちまわってやろうという合意はいただいている。その第1回目はやはり浜田だと言われている。4市町村合意でやっていかないといけないと思っている。第1回目は28年度になると思うが、それはぜひ浜田市でということを行っている。
	各イベントの実行委員会がある。今福、コーヒー、フェスティバル。ど

ういものか規模等も全然知らないので、後で良いので資料が欲しい。

また、200人の定員に対する裏付けはあるのか。2日にわたらず1日でも良いのではという気がする。コーヒーの件で広島が上がる理由は何か。BB、お魚、分かるのだけれど、他にも農業祭等もあるので出かけてみるべきでは。

観光交流課長

今福線シンポ実行委員会の会長は県立大学の西藤真一先生、副会長は県技術士会の和田様。実行委員は沿線地元自治会、雲城まちづくり委員会、今福地区まちづくり推進委員会、丸原自治会、商工会議所観光部会等、合計15名。

ヨシタケコーヒーの方は、顧問として金沢大学名誉教授の廣瀬先生、この方は日本コーヒー文化学会の副会長である。委員長が広島修道大学の中根先生。この方も日本コーヒー文化学会の理事である。委員は県立大学、商工会議所の観光部会等、合計7名。後援の中に広島修道大学（未定）と掲載しているが、この実行委員長の中根先生が修道大学の教授ということで後援を予定している。

水産振興課長

Sea-1 グルメフェスティバルについて、仮称だが、Sea-1 グルメフェスティバル実行委員会を立ち上げる予定。構成は、生産者、仲買業者、加工業者、JFしまね、行政、それからBB大鍋フェスティバルの事務局である商工会議所青年部を予定している。どなたが会長になるかは、今後予算が通って、来年度実行委員会を立ち上げて決めていく。

今回のグルメフェスティバルは10周年記念事業ということで、BB大鍋を拡充する形、同時イベントとしてやる予定。

串崎委員

他の産業祭りはどうかということ。参加の方は。

水産振興課長

他の産業祭等々で浜田の魚をPRすることは非常に大事だと思っている。11月はいろいろとイベントがあるが、水産振興課も協力していきたい。

観光交流課長

定員が200名と想定しているが、200名の定員以上の方がお見えになるのではという感触を持っている。

牛尾昭副委員長

4つのイベントの中で一番心配しているのがヨシタケコーヒーのシンポジウム。一過性で終わるのではという意見を聞く。なぜかと言うとヨシタケコーヒーを入れるのは非常に難しいこと。もう一つは、コーヒーを入れるのにこだわっている経営者はヨシタケコーヒーを受け入れられないのではないかとの声もある。自分のコーヒーの入れ方は決まっていて、それに客が付いているから。一過性で終わらせないためには工夫が必要なのは。

今の時代の皆さんに受け入れられるか危惧している。どうせやるなら、今ヨシタケコーヒーがあった場所は空き店舗になっている。たまたま空き店舗なので、数ヶ月ここでヨシタケコーヒーを出すとか、当時あった場所が今これだけ変わっているとやるとか、ひとひねりした仕掛けをしておかないと、50周年でやったけど何も残ってないというのではいけない。ここも相当お金がかかるので、活きたお金を使ってもらわないと。たまたま50周年なので、たまたま人が来て賑わった、では寂しい。一過性で終わらないようなイベントにしてもらいたい。

久保田市長は色んなアイデアが次から次へ出ることは評価しているが、政策としてどうかというのは議会がチェックするので、上手くやって欲しい。

観光交流課長

ヨシタケコーヒーについては、提供店を何とか確保したいと考えているが、現時点で既に何店か、このヨシタケコーヒーを提供したいという声を

聞いている。地域の観光資源になり得るものだと思っているので、一過性のイベントで終わるのではなく、これが第一歩だと捉えている。浜田にあればヨシタケコーヒーが飲めるという情報発信を全国にしながら、浜田にはヨシタケコーヒーがあるということを周知して交流人口が増えるようにしていきたい。提案のあった昔の店舗が今空き店舗になっていることについては、今後、活用についても検討してみたい。

布施委員長
串崎委員

その他。なければ(5)について。串崎委員。

事務局がふるさと体験村ということで、地元議員として人数が増えるのは嬉しいが、どのような人が入られるのか。また、市の継続的な支援のうち、財政支援とはどのようなことを考えておられるのか伺う。

観光交流課長

ふるさと体験村事務局に配置する専属職員だが、これまでツーリズムコーディネーターとして活動されていた方である。財政支援は、こうした専属職員の人件費を含めた諸経費である。

牛尾昭副委員長

この件については、早速議員提案を受けて人件費を予算化されたということで一定の評価をする。ただ事業を行う性格からすると、職員の人件費だけでなく、活動費が必要になってくると思う。どの程度の枠で仕事されるのか見えないが、活動費もないと人件費だけでは辛いのでは。今後どのようにされるのか、分かる範囲で教えて欲しい。

観光交流課長

活動費については、平成27年度予算で正確な数字は言えないが、旅費、事務経費、諸々のものを計上させていただいている。27年度だけでなく継続的に財政的な支援を考えている。

布施委員長

その他ありますか。なければ(6)について。

(「なし」という声あり)

それでは、次に移る。

(7) 山陰道浜田三隅道路原井IC-西村IC開通イベントの開催について

布施委員長

執行部から説明をお願いします。建設企画課長。

建設企画課長

(以下、資料をもとに説明)

布施委員長

説明が終わった。委員から質疑はあるか。

(「なし」という声あり)

それでは、次に移る。

(8) 平成25年8月豪雨災害復旧事業の進捗状況について

布施委員長

執行部から説明をお願いします。災害復興室長。

災害復興室長

(以下、資料をもとに説明)

布施委員長

説明が終わった。委員から質疑はあるか。

(「なし」という声あり)

それでは、次に移る。

(9) 元谷団地について(委員会終了後、現地視察)

布施委員長

この件については、委員会終了後に視察を行う。

(10) その他

布施委員長

報告事項で、その他、執行部からあるか。

委員からあるか。

(「なし」という声あり)
続いて、議題8. 所管事務調査に入る。

8. 所管事務調査

(1) 「将来、浜田の顔となる農産物の振興」について

布施委員長 執行部から説明をお願いします。農林振興課長。
農林振興課長 (以下、資料をもとに説明)
布施委員長 説明が終わった。委員から質疑はあるか。串崎委員。
串崎委員 やっと浜田の顔となる農産物が出てきた。これについてはどうこう言うことはない。課題として、全て担い手不足ということが書いてある。支援としてはふるさと農業研修生育成事業くらいだと思うが、他に何かあるか。
もう一点、私は本来なら軟弱野菜のパイプハウスの支援を本当にお願ひしたかったのだが、どうなっているか。
農林振興課長 担い手は、西条柿については企業さんが関心を持っておられる。ふるさと農業研修事業を受けてそのまま梨園を引き継ぐという、うれしいというか上手くマッチングした話もあるので、農業人フェア等へ出かけて行って話をしたい。農業人フェアではこれまで、こられた方にどうですか、というような話をしていたが、これからは、例えば梨園が1ヘク空いているから梨づくりに携わってみないか等、こちらからの提案型募集をすれば、意識を持った方がこられるのではないかと考えている。
パイプハウス等の施設整備は、市単独事業にはなかなかならない。県の方で頑張る農業という事業もあるが、県全体の事業費もあって、割り当てもあるので、できる限りのところで県の補助がもらえるような取組みをして、なおかつ市の方で上乘せをしていきたいと考えている。
串崎委員 軟弱野菜のパイプハウスは絶対的に力を入れてやっていただきたい。
布施委員長 その他委員から。
(「なし」という声あり)
ここで休憩に入る。再開は12時50分。

[12時 02分 休憩]

[12時 50分 再開]

(2) しまねお魚センターの状況について

布施委員長 休憩前に引き続き会議を再開する。
執行部から説明をお願いします。漁港活性化室長。
漁港活性化室長 (以下、資料をもとに説明)
布施委員長 説明が終わった。委員から質問等はあるか。牛尾昭副委員長。
牛尾昭副委員長 少しお金を入れてテコ入れされて、その分だけ数字が上がった印象。10年かけてここまで落としかつたから、浮揚するにも10年かかると言われる方もおられる。積み重ねでやっていくしかないのだろうなと思うが、2月はチラシが入っていない。前にも話したが、小山の道の駅は1ヶ月の売り出しメニューがあって毎日何かやっている。それを毎月入れている。1日1日何かやっているのはすごい。チラシにお金をかけているわけではないけれど、なんでもないようなイベントなのだけど毎日何かやっている。バスが入っていて交通弱者が、高齢者が滞留してる。そのように、外的にお客がそこ

に行くように努力されたかどうかも報告がないから分からないが、毎日何かがあるというふうな、市民の方に認知してもらうような仕掛けをしないと。せっかく税金を使っているのだからするべきではないかと。

行政がどこまでというのはあるのだろうが、やり方を劇的に変えるとか。お魚センターも背水の陣だから、思いきった策を考える時期ではないか。

漁港活性化室長

お客に来ていただく仕組みは当然運営会社も考えないといけないし、足りない部分は市も知恵を出して提供していかないといけない。会社運営を円滑にするためには、現在の空き店舗を埋めることが重要ある。賑やかにすれば客も増えるものと考えている。先日も空いているブースでミニコンサートを行ったが、従来のお魚センターとはまったく違った形での集客の取組みも行っていきたいと考えている。

牛尾昭副委員長

漁港活性化室がどこまで販促に貢献できるかということは限界がある。信金OBも加わっている。色々努力されているようだが、社長も新しく就任されているし、もう少し元気が出るような。

先日行ったらコンサートをされていた。年末に例えば空き店舗で弥栄のソバを売っていたが、冬は閑散期だからあそこに出て行って常設店舗で弥栄のそばを売ったり。浜田市全体の中で、閑散期に商売がうまくいかないようなものを空き店舗に誘致したらどうか。もうひとひねりふたひねり、今ある材料でできる気がする。検討をお願いします。

布施委員長

他に。

(「なし」という声あり)

それでは、次に移る。

(3) 観光モデルコースについて

(4) PR大使等について

布施委員長

執行部から説明をお願いします。観光交流課長。

観光交流課長

(以下、資料をもとに説明)

布施委員長

説明が終わった。委員から質疑はあるか。串崎委員。

串崎委員

石州和紙についてだが、見るとコワ温泉へ行って最後にゆうひパーク浜田でおみやげ、というコースが書いてある。三隅のゆうひパークもあるが、このところを三隅支所長さんはどう思われたのか。

三隅支所長

正直に言ってこの話については聞いていない。

串崎委員

何も分からないとなるとちょっと。私自身は、三隅へ引っ張っていくべきだろうと。言われて駄目なら分かるが、不甲斐ない感じを受けた。

もう一つ、美又温泉にも触れていないし、旭エリア満喫コースということになると、金城や弥栄等はどうなっているのかとか、色々気になる点があるがどうなっているか。

観光交流課長

観光コースは、3月末を目指して10コース作る予定にしている。コースに盛り込んでない観光資源もたくさん残っているので、来年度以降に造成したい。

西田委員

お宝探しから観光モデルコースを作るにあたっては、色んな流れがあつて、大変なご苦労があつただろうと思う。モデルコースを作るのも非常に難産で、やっとこれだけできましたというところだが、胸をなでおろすのは早い。本番はこれから。ただ、市民にお宝を募集したのは、市民の意識啓発にはなったと思う。コースを作るのは大変だろうが、石見ケーブルが

やっている「ふしぎ探偵社」で紹介しているところなどもお宝だし、そういったものを、石見が一体化して全て拾えば、またいろんな方の意見を聞けばもっと楽にコースができるのではないかな。

そして重要なのは、コースを活かしていくのに、色んな所にアプローチして来ていただくのだろうが、ボランティアガイドの方たちもおられるし、三隅の室谷棚田祭りとか大平桜祭り等では観光コンシェルジュがいて、ここに来たからこそその話をしている。これからは案内して説明していただけるガイド等人材の養成が重要になってくると思うがどうか。

観光交流課長

実際に観光コースを造成したが、単純に観光客の方が巡るだけだと感動しないと思う。どなたかが案内するのは非常に大切だと思う。なかなかすぐにはそれぞれの観光コースについて案内ができるような人材育成はできないが、そうしたことも目指しながら来年度以降、取り組んでいきたい。

この観光コース、ケーブルテレビの「ふしぎ探偵社」等色んなものがあるが、どれかを絞らないと全てのコースで当てができるというのは難しいと思うので、その辺も含め検討させていただきたい。

西田委員

コースがものすごく複雑にあるので、年間スケジュールで旬なものを、食材はこう、歴史的なもの、文化はこう、体験はこうといったように、全て出して縦軸横軸を結ぶと、年間を通してたくさんのコースができると思うので、具体的なものを積極的に、戦略的に考えて欲しい。

私も他所へ行くと、そこにいるおじいちゃんやおばあちゃんでも色んな話をしてくれる方はいる。そういう方は浜田にも一杯いらっしゃると思うので、引っ張り出して、おもてなしでやって欲しい。

牛尾昭副委員長

観光交流課でコースを組み立てたのだろう、ご苦労さま。今後のコースは観光交流課の中だけで決められるのは荷が重すぎるのではないかなという気がする。当初はちゃんとコーディネーターを真ん中に据えてコースを組み立てるといった話だった。それがどんどん後退して、今は原課が作ることになった。見ていて負荷がかかり過ぎるような気がする。

やはり一定のコースを作ろうと思えば、観光の専門家等を含めて外の意見を取り入れて組み立てないと、抜けるのではないかなと思う。例えば、石州口の戦いの扇原関門は益田にある。そこに立たないと感じられないこともある。歴史の痕跡のある場所は市内だけで完結せず、ゆかりのある市外を取り込んでいくとか。浜田市だから市内に限定というのも分かってはいるが、浜田に縁のある場所を入れて組み立てたら感動が生まれるのではないかな。特に歴史観光は感動がないと。そういう感動を生むコースを今後は考えて欲しいし、そのためには、さっきも言ったように外からの視点も必要だと思うので検討して欲しい。

観光交流課長

第二次幕長戦争については、益田・津和野から江津までの長いコースになるが、石見観光振興協議会の方で「花燃ゆ」のゆかりの地を巡るコースということで3コース造成されているので、浜田市内でということで調整しているが、今後は浜田市外を含めて感動できるコースということも視野に入れて検討していきたい。

外の視点ということについては、来年度以降、そうしたことも含めて観光モデルコースの検証を行い、ブラッシュアップをしていきたい。

笹田委員

大変ご苦労されたということだが、正直なところあまり面白くないと、申し訳ないが思った。もっと地元の人らがせっかく集めてくれたものを、

見てああこんなものかと思われるのではなくて、こんなところもあったのかということにならないと、今まであったものとまったく同じように見えてしまったので面白くないと言わせてもらった。ここも知ってる、ここも見たことあるということになりはしないかと率直に思った。

海のことと言わせてもらおうと、冬に畳ヶ浦にはとてもじゃないが行けない。という風に、時期に合わせて、例えば弥栄は夏は涼しくて良いけど雪の時期は難しいとか、季節ごとのお勧めのコースを示して欲しかったなど、残念に思う。それから、2ページ目、石見海浜公園と書かれているが、この画は国府海岸なので、勘違いされては困るのでしっかりした写真を使って欲しい。

観光交流課長

実際にはほぼ知られている観光資源やポイントをコースとして作った。最初に説明したように、応募が多かったお宝を中心に、既存の観光資源とを組み合わせたので、あまり変わり映えはしないものになったと思う。畳ヶ浦は、冬は厳しいので、季節ごとに分けた観光コースにまとめていきたい。写真は検討したい。

布施委員長

(5)について。串崎委員。

串崎委員

主な活動の中に、弥栄や美川とか浜っ子とかあるが、金城・旭がないのが気になる。真ん中の浜田食の大使は浜田のオリジナル料理等がある。ノドグロの食べ方も、浜田としてのレシピのようなものを訴えたらどうか。

産業政策課長

三國氏について。ノドグロを入れたレシピの製作も良いのではないのかとの提案であるが、三國シェフにはこれまでも色んなレシピを提案してもらっている。26年度は弥栄で、どぶろくとイノシシを組み合わせた料理を体験村の方に提案してもらった。今後も浜田の魚を中心として、山の物も含めた浜田らしい食材を使ったレシピの開発に努めていきたい。

観光交流課長

確かに旭、金城では山崎ていじ氏の活動がない。今後どのようにするのかはちょっと検討させていただく。

産業経済部長

山崎氏の活躍は嬉しい限り。弥栄の生まれで三隅で幼少期を過ごされ、高校は江津だった。弥栄と三隅は、まだヒットしてない無名のうちからずっとイベントに呼んでいて、今も毎年帰ってきて歌っておられる。現在は三重県の津市に拠点を持っておられるが、三重県でフィーバーして、関西圏でも人気がある。今のお仕事は東京方面が増えてきて忙しいようで、今後どのくらい地元で歌ってもらえるのか分からないが、調整して、できるだけ来ていただける場を考えていきたい。

笹田委員

山崎ていじさんにしても三國さんにしても、有名な方で、浜田のことをPRしてもらってありがたいと思うが、報酬等について、少なからず金額が発生していると思うが、各々どれくらい経費がかかっているのか。

観光交流課長

山崎ていじさんは、三隅フェスティバルについては旅費込みで20万円。弥栄ふるさと祭りは全て込みで13万円。浜っ子まつり、25年の時は、せんだみつおさんと合わせて50万円だった。それから、浜田食の大使は、指導助言1時間当たり5万円、交通費、宿泊費は別途支給ということである。商品開発アドバイザーは、指導助言1時間につき2.5万円、交通費、宿泊費は別途ということである。

笹田委員

1時間あたりという数字が出てきたが、昨年でだいたいどれくらいか。

産業政策課長

三國シェフについては10時間で、50万円。石村さんについては2日で約10万円払わせていただいた。

布施委員長

その他。牛尾昭副委員長。

牛尾昭副委員長	山崎さんは今回陳情が出ているので、合わせて何うが、こちらに帰ってきてイベントに出てもらうことも大事だが、PR大使は他所に向けて浜田をPRしてもらうのが本旨するじゃないかと思うのだが、確認しておく。
観光交流課長	おっしゃるとおり、外に向けて浜田をPRしてもらうのがPR大使の役目である。
牛尾昭副委員長	そうすると、山崎ていじさんが浜田の出身だということが分かるような仕掛けとか、そういったことに支援するというのが本来だと思っている。陳情審査の参考にしたいと思って聞いた。
布施委員長	その他。ないようなので、次に移る。

(5) ゆうひパーク三隅の状況について

布施委員長	執行部から説明をお願いします。三隅産業課長
三隅産業課長	(以下、資料をもとに説明)
布施委員長	報告が終わった。委員から質疑は。笹田委員。
笹田委員	依然として厳しいと認識している。以前から通るたびに思うが、案内看板3枚が裏を向いているので壁に見える。自治区長にも言っているが、それを利用して、9号線から見えるように、なつかしの国石見のポスターの撮影地だし、市民の方も知らない人が多いので、あそこで列車の写真が撮れるよとか9号線から見えるものがあるとか、寄ってもらえる仕掛けがない。せっかく9号線沿いに看板があるのだから裏を利用して入ってもらえるようなことができないかと言っているが、活かされていない。
三隅産業課長	ここで朝ごはんやってますとかPRする仕掛けがないと。ゆうひパークというだけあって夕日がすごくきれいなので、そういうロケーションを活かして人を集める施策ができないかと言っているが、検討したのか。
三隅産業課長	看板の件は、朝ごはん等のときに検討したりしている。国道9号線に面しているので、その看板や国交省のトイレ等には直接貼れないなど裏面が利用できないということはある。
三隅産業課長	ロケーションの関係では、撮影地のPRや汽車の時刻表等の情報は、テーブルには表示しているが、大きく表示することはできない。しかし、国土交通省も道の駅に力を入れているので、協議して、許可いただける方向に持っていきたいと思っている。
笹田委員	駐車場にある大きい案内看板の裏は、使用不可ということなのか。
三隅産業課長	国土交通省と一度協議した際に、正式ではないが許可にはならないだろうと回答を得ている。もう1つの市の方も、道路に面しているため国交省と協議が必要だと思っている。
笹田委員	看板3枚とも全て駄目ということにはならないと思う。本当に議論したのか疑問が残る。自分は他の道の駅でそういう看板、工夫してあるある看板を実際に見たことがある。ということは、可能ということなので、きちんと議論すれば認めてもらえるのではないかと思う。しっかりと協議し、工夫をして欲しい。
布施委員長	その他。 (「なし」という声あり) それでは、次に移る。

(6) その他

布施委員長
旭産業課長

その他、執行部から何かありますか。旭支所産業課長。

旭温泉水有効活用事業企業者プランコンテストについて。

今回、余剰温泉水及び周辺地域資源を活用して提案者が実際に企業する事業構想の提案を求めるコンテストの募集をした。募集期間は平成26年12月15日から27年2月27日。公募の周知はここに書いてあるとおり。この間、問い合わせ件数9件。内容的には化粧水や温泉付きグループホーム、地ビールの製造、すっぽんの養殖等。その内、実際に応募されたのは3件。個人が2件、市内1件。松江市1件。東京の法人が1事業所。

1つは温泉水を活用した健康維持増進施設や、ペット施設を作ったらどうかということで、これについては本人が旭支所の自然や社会復帰センターを活用したような、色んなアイデアは出されたが自分が起業するものではなく、単なる事業アイデアだった。

2つ目は美肌のためのスキンケアプランの構築をしたいということで、この方は旭温泉水と温泉津のモンモリナイトと邑南町のアロマオイル等を連携させた美肌スキンケアブランドを構築したいとの提案をされているが、これについては起業のための事業計画や資金調達がなかった。

もう1つは、見守り型の温泉水配送とハウスクリーニング事業の提案だった。これについては、2年目以降にやりたいとのことで、1年目はとにかく旭温泉水が他にも何か有効利用できるのではないかとということを検討したいという、すぐに起業できるものではなかった。

それで3月5日に非公開で、外部委員4名と内部委員(職員)3名による一次審査を行った。結果、基準点に達せず、3件とも実現可能性が乏しいとのことで、2次審査該当なし。今回は公募後の検討期間が短かったことや、地域への情報提供不足等を非常に反省している。できれば6月議会に予算提案をさせていただき、再度公募させていただきたいと考えている。

布施委員長
旭支所長

その他。旭支所長。

冒頭に話したレジオネラ菌の件だが、先ほど出た検査結果によると40だった。前回より少ないとはいえ基準は10未満。今後保健所の指導を仰ぎながら対応したい。

布施委員長
産業経済部長

その他。産業経済部長。

1点情報提供を。これは観光交流課所管の案件だが、地域支援型自動販売機というのがある。県庁1階のがん対策、エディオン浜田店の前にはサンフレッチェ応援仕様等がそれに当たる。

このたび、浜田の石見神楽を題材にしたものを市役所本庁地階と、千畳苑に設置することになった。今後、市内全域や民間企業に置く予定にしている。売上の数パーセントは市に寄付されることとなる話が、コココーラとまとまっている。まだ素案の段階だが活用していきたい。自販機で買う際はぜひこの地域支援型を利用していただき、市に対して寄付をいただき、それをもとに観光振興に役立てたいと思う。

布施委員長
笹田委員

委員から。笹田委員。

所管とは関係ないかもしれないが、非常に重要なので報告する。昨夜から3日間にかけて三隅の方から連絡があった。米軍機の夜間訓練の音ではないかと思うが、うるさくて困ると。そういった情報を掴んでおられるか。

三隅支所長

支所の方にそういう問い合わせがあったとは聞いてないが、私も三隅に

布施委員長 いるので飛行機の音は聞いている。ただ、時間的に広島発のソウル便かなとも思った。昨日は天候の加減で音が大きいのかと感じた。
その他。
(「なし」という声あり)
それでは、次に移る。

9. その他

布施委員長 その他、執行部から。
(「ありません」という声あり)
委員から。牛尾昭副委員長。
牛尾昭副委員長 瀬戸ヶ島の問題が色々議論されている。岡山理科大学の山本准教授がやっておられる「真水から塩水を作って養殖に活かす実験」が、瀬戸ヶ島に持ち込めないかぜひ視察したい。日帰りくらいの行政視察を組んでいただきたい。産業建設委員会メンバーを中心に、委員外議員さんも良ければ一緒に。
布施委員長 その件については新年度に諮って、視察したいと思う。その他あるか。
(「なし」という声あり)
では、本年度末で勇退される課長さんがおられるので、ここであいさつをいただく。都市建設部維持管理課、岡本課長よろしく。
維持管理課長 (以下あいさつ)
布施委員長 執行部の皆さんは退席されて結構。お疲れ様。

《 執行部退席 》

○採 決

布施委員長 それでは市長提出議案5件の採決と、陳情審査に入る。

議案第9号 浜田市手数料条例の一部を改正する条例について

布施委員長 原案のとおり可決すべきものと決することに異議はないか。
(「なし」という声あり)
本議案は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

議案第17号 浜田市漁業集落施設条例の一部を改正する条例について

布施委員長 原案のとおり可決すべきものと決することに異議はないか。
(「なし」という声あり)
本議案は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

議案第19号 浜田市営住宅条例の一部を改正する条例について

布施委員長 原案のとおり可決すべきものと決することに異議はないか。
(「なし」という声あり)
本議案は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

議案第26号 市道路線の廃止について（久佐45号線外）

布施委員長 原案のとおり可決すべきものと決することに異議はないか。
(「なし」という声あり)

本議案は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

議案第27号 市道路線の認定について（国府248号線外）

布施委員長

原案のとおり可決すべきものと決することに異議はないか。
（ 「なし」という声あり ）

本議案は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

陳情審査（山崎ていじ氏の浜田市イベント出演推進とこれに関する財政的援助）

布施委員長

では、先ほど最後に回した陳情審査を行う。所管事務調査にて受けた、PR大使等の説明も加味して皆の意見を伺いたい。

牛尾博美委員

先日、伊勢・松阪へ会派視察に行った際、山崎ていじさんは三重テレビを引き連れてわざわざ津から来てくれた。浜田からあの方面へ行くと必ず来てくれて、目に見えない所でも浜田をPRしてくれている。何らかの報酬を、どの程度かは分からないが少なくとも最低限の経費は支払わなくてはいけないのだろう。本人の負担にならない形で出すべきだと思う。

全国的に浜田をPRしてくれているのを感じる。ただで人を使う感覚ではなく、浜田出身者に浜田を全国PRしてもらう時は、報酬をしっかりと考えて任命することも考えるべき。僕は採択。

笹田委員

私も同じ意見。三隅フェスティバル、美川夏祭り、浜っ子祭りには県外からもファンが訪れたと聞いている。紅白も狙えるのでは。浜田市全体で応援する気運を高めるためにも、採択したい。

串崎委員

同じ弥栄出身なので採択。

飛野委員

採択に賛成。

西田委員

陳情の趣旨は、決して山崎さんから財政支援を請われたわけではない。彼は浜田のPRをブログやコンサートで真面目にやってくれている。浜田のメインイベントにも市から積極的に呼んでももらいたいし、それに伴う経済効果も多いはず、という気持ちを込めた陳情だと受け止めている。今後もっとメジャーになれば、来ていただきにくくなる気がする。採択。

牛尾昭副委員長

外に向けたPRをしてもらいたい。「出演が少ない」云々の4行がそぐわない気がする。できればこの文面を削ってもらえれば素直に採択しやすいのだが。

地元の祭りに出てないから財政支援してくれというのも、本人がそう言われたわけではないにしても引っ掛かる文面だと思う。採択する以上は一定レベルの文でない、委員会のレベルが問われる。不安なのだが。

布施委員長

事務局、こういった陳情文章の修正は可能か。

小川次長

やるとしたら一度継続審査にしてもらって話をしないと、ここで結論を出すのは……。そこまでする必要があるものかどうかというところ。

布施委員長

応援が今まで以上に必要だという趣旨は皆にも確認できて理解されているとは思いますが、書き方が……。

牛尾昭副委員長

もっと採択しやすい文章にしてください。これ本人が読んだ時に「ちょっと違う」と言われたらどうするのか。それも併せて。老婆心ながら。反対はしないが。意見を申し上げておく。

布施委員長

修正はできないようなので。しかしほとんどの議員がこの採択については理解されていると思う。この陳情の採決をしたいが、採択することに異

議はないか。

(「なし」という声あり)

ないようなので、全会一致で採択と決した。

以上で産業建設委員会を全て終了する。

[14 時 10 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに産業建設委員会記録を作成する。

産業建設委員長 布 施 賢 司